

大入島小学校沿革

時代	年	学校変遷	学校の変遷図
明治	8年	学生発布 廃庵の家屋を充て片神小学校と称す	<div style="text-align: center;"> <p>片神小学校</p> </div>
	11年	閉校となる	
	16年	荒網代小学校、石間小学校、片神小学校及び日向泊分校ができる	
	20年	4年制を3年制にして、簡易学校と名前を改める	
	25年	教育令に基づき、4つの学校を合併して大入島尋常小学校と称す 片神に本校を置き、他の3校は4年生の分教場とする	
明治	40年	小学校令に基づき高等科を併置 大入島尋常高等小学校と称す	
	41年	高等科を廃止 荒網代分教場が独立して荒塩尋常小学校となり石間分教場はこれにつく	
大正	5年	石間文教場が独立し、石間尋常小学校となる	
昭和	3年	合併が実現 堀切に新校地設定 新校舎建設 大入島尋常高等小学校となる 石間 荒塩の両校は分教場となる	
	15年	国民学校令により校名変更 南海部群大入島国民学校と称す 佐伯市制施行により 佐伯市立大入島国民学校と改称する	
	20年	終戦	
	22年	6・3制実施により 佐伯市立大入島小学校と改称する 大入島中学校の開校記念式挙行 (小学校の一部を使用)	
	32年	佐伯市立大入島南小学校が新設され 石間浦、荒網代浦を校区とする	
平成	43年	日向泊分校は廃止となる	
	9年	児童数減少により大入島小学校と大入島南小学校が統合し 佐伯市立大入島小学校となる	
	19年	開校10周年記念式挙行	
平成	20年	佐伯市の特色ある学校づくりサポート事業を受け、学校間交流（青山小）、地域との交流体験活動をおこなう	
	21年	佐伯市の特色ある学校づくりサポート事業を受け、学校間交流（切畑小）、地域との交流体験活動をおこなう	
	22年	プールの配管・プール槽の修理 夢花火プロジェクト実施、児童デザインの花火が250発トンド火祭りにあがる 佐伯市の特色ある学校づくりサポート事業	
			現在